|  |
| --- |
| 様式１ |

平成　　年　　月　　日

日本高専学会会長　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　推薦教員(指導教員で可)

学校名：

学科等：

役職等：

教員名：

E-mail：

電　話：

住　所：〒

下記の専攻科学生は、日本高専学会「研究奨励賞」に値する活動を行ったと認められますので、推薦書等一式および諸資料を添え、ここに推薦いたします。

　所　　属：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(　　　年)

　　　　　　※ 専攻・コースおよび在籍学年をご記入願います。

　学生氏名：　　　　　　　　　　　　　　　(ふりがな：　　　　　　　　　　)

　研究題目：

　　　　　　※ 研究題目は和文で表記してください。

　審査結果等連絡先１(教員名等およびメールアドレス)

　審査結果等連絡先２(事務部名等およびメールアドレス)

　※ 事務部を経由してのご推薦の場合には、事務部の連絡先もご記載願います。

推　薦　書

* 1,000字以内で、「代表的な論文等」を織り込みつつ、具体的な推薦理由を記述してください。なお、概要となるため、次項の「推薦理由」と重複する部分が生じても問題はありません。

推 薦 理 由

* 日本高専学会「研究奨励賞」規程に則し、各項目につき、300字程度で記述してください。なお、「推薦書」と内容が重複しても特に問題はありません。また、必要に応じ行を増減してください。
1. 研究内容が「論文」として公表されている点
* 特に査読付論文としての掲載状況につき、具体的な論文名等を挙げ、記述してください。
1. 研究内容が口頭発表やポスター発表等により広く公表されている点
* 研究内容の口頭発表等の状況につき，代表的な発表名等を挙げ，記述してください。
1. 研究内容の国際的な周知が図られている点
* 特に英語での発表状況につき，幾つかの具体例を挙げ，記述してください。
1. 研究内容が地域等に還元されたり、研究者(学生)が人格的に優れている点
* 研究内容の地域等への還元状況や学生のボランティア歴等について記述してください。

業 績 一 覧

1. 被推薦学生の業績につき、以下に記述してください。なお、各校における紀要への掲載論文等についても記述して構いません。
2. 当該の業績がない場合は、空欄のままとせず、当該の項目全体を削除してしまってください。ただし、項目を削除しても、以降の項目番号の修正は行わず、そのままとしてください(当該項目は欠番とする)。
3. 複数の著者等による業績の場合は、本人の氏名に下線を付してください。また、本人の役割分担が明確に分かるような記述を心掛けてください。
4. 掲載予定の業績等については、その旨を明記してください。なお、投稿予定および投稿中の業績については記載しないでください。
5. 口頭発表およびポスター発表に関わる講演論文集やプロシーディング(ズ)等への掲載原稿を記載する場合は、それらが同一内容(研究)であると分かるよう、注を添えるなどして記載してください。
6. これら業績(論文・概要・報告書・各種資格取得等)を証する文書(コピー可)を併せてご提出ください。また、これら全ての資料は、PDFファイル(１ファイル３Ｍ以下)として、ＣＤ等に収め、併せてご提出願います。(「略歴」までの内容につきましては、元のワードファイルも併せてご提出願います。)

Ⅰ　論文発表

　１．国際論文誌への掲載論文

　２．国内論文誌への掲載論文

　３．その他への掲載論文 (上記注意事項 ※５ をご確認ください。)

Ⅱ　口頭発表およびポスター発表 (上記注意事項 ※５ をご確認ください。)

　１．国際学会での口頭発表

　２．国際学会でのポスター発表

　３．国内学会での口頭発表

　４．国内学会でのポスター発表

　５．その他での口頭発表

　６．その他でのポスター発表

　７．その他の発表

Ⅲ　学会賞および特許取得等

　１．学会賞受賞

　２．特許取得

　３．国際学会での表彰

　４．国内学会での表彰

　５．国内発表会等での表彰

　６．その他の表彰

　７．上記以外の業績

略　　歴

* 被推薦学生に関する高専入学以降の略歴(学歴・学生生活における特筆事項・職歴・進路など)を記述してください。